



こどもの国ニュース

第520号 2013年2月号

発行 社会福祉法人こどもの国協会
〒227-0036 横浜市青葉区奈良町700(☎045-961-2111)
編集・制作 (株)朝日マリオン21 印刷 (株)朝日プリンテック



「和」をテーマにしたこどもの国「梅まつり」を、2月16日(土)から3月3日(日)までの土日ごとに開きます。この日に和服でご来園のお客さまは入園無料(駐車料金は有料)。紅白の梅の花が咲き誇る梅林の眺めを楽しむと同時に、園内ではコマ、けん玉などの昔あそび、獅子舞い、和太鼓といった古い和の世界が広がります。

和のかおり、春の風

「梅まつり」16日から土日 3月3日まで

白梅、紅梅……約650本



梅林には白梅、紅梅、豊後梅が約650本あります。標識に従って散策コースを歩くと、高い梅林の頂上に導かれます。写真①は昨年。丘からは一面に広がる梅林が見渡せ、遠くは残雪をいたたく丹沢山系がかすんで見えます。日本情緒が感じられるイベントでは、おかげひよつこ踊り②は昨年Ⅱや獅子舞いが登場する「お祭り囃子」(2月23日・24日)、「鼓粹」による勇壮な「和太鼓演奏」(3月2日・3日)を中央広場で開きます。また、まつりの日は中央広場にコマ、けん玉、羽子板などを無料で貸し出す「昔あそびコーナー」が出ます。午前10時から正午まで、午後1時から3時まで、日本けん玉協会が「けん玉教室」を開きます。けん玉の上達度に応じて、「級」の認定書が手渡されます。「食」のイベントは、梅まつり恒例になっている雪印こどもの国牧場の特別牛乳サンダグリンのホットミルク無料配布を今年も実施します。中央広場で正午から先着250人に配り、体の芯から温まっていたくださす。



その近くでは、午前10時から午後3時まで、「焼きマシユマロ体験」コーナーをもうけます。マシユマロは販売しますので、炭火にあたりながらとろけるマシユマロをお召し上がりください。中央広場では各日10店舗の屋台がでます。③は昨年。園内レストラン「さんかくぼうし」では、平日も含めた梅まつり期間限定の「和バード定食」(650円)をメニューに加えます。こどもたちの好きな工作も多数用意しています。まつりの日はおとぎの広場前で八重の白梅と紅梅の花をかたどった「梅のかざぐるま」④を無料で作れます。児童センターで開催している有料の工作教室では、日曜ごとに「ゆらゆらおひなさま」か「おしゃべりバード」を作ります。このほか、中央広場で「日替わり大道芸」(2月16日・17日)を実施。こどもの国の園内を歩いて答えを見つけるクイズウォークラリーは、まつりの日の午前10時から午後2時まで、正面入口広場で受け付けます。参加料は20円で、午後4時までにゴールしたら参加賞を差し上げます。

こどもの国は、皇太子殿下(現天皇陛下)のご成婚記念事業として、全国から寄せられた国民のお祝い金を基金に、昭和40(1965)年に開園しました。以来、自然の中でこどもたちがのびやかに遊べる施設づくりと独自の遊びの場の提供に努めてきました。小紙は開園当初からこどもの国の活動や取り組みを紹介し、各地の教育委員会のご協力で、全国の小・中学校に広く配布していただいています。引き続き配布していただくよう、お力添えをお願い申し上げます。
教育長 各位
教育事務所長各位
社会福祉法人こどもの国協会

- 2のびのび、お正月休み 牧場さんぽ
 - 3初の「こども農業体験」連載コラム「思い出 こどもの国」
 - 4開花情報 自然のたより
- こどもの国ニュースの用紙は王子製紙株式会社のご提供によるものです

tv asahi 5 digital

獣電戦隊 轟轟キョリュウゲル

2月17日(日)スタート 史上最強のブレイブ!!

毎週日曜 あさ7:30~ テレビ朝日系にて放送

©2013 テレビ朝日・東映AG・東映

こどもの国 2月・3月の催し

☎045-961-2111

■2月
～2月24日回 野外スケート場オープン 60メートル×30メートルの野外リンク。10時～16時(入場は15時まで)。フリータイム制。貸靴は16センチ～30センチ。

| 利用料金表 | 入場料 | (-貸靴料) | セット券 | スケートメイト | 年間パスポート |
|----------|------|--------|---------------|---------|---------|
| | | | (入園料+入場料+貸靴料) | | |
| おとな・高校生 | 400円 | | 1,300円 | 5,500円 | 10,000円 |
| 小学生・中学生 | 150円 | 500円 | 700円 | 3,000円 | 5,000円 |
| 幼児(3歳以上) | | | 600円 | 2,500円 | 4,000円 |

※セット券、スケートメイト、年間パスポートには「こどもの国入園料」「スケート場入場料」「貸靴料」が含まれています。これ以外には「こどもの国入園料」が必要です。

- 2日回・3日回 コマであそぼう コマ、羽子板、けん玉の無料貸し出し。10時～15時、中央広場。雨天中止。
- 2日回・3日回 けん玉教室 10時～12時・13時～15時、中央広場。日本けん玉協会の先生がけん玉を指導。コツを教わってすぐに上達します。無料。雨天中止。
- 2日回・10日回・16日回 あそびの広場 11時～15時、児童センター視聴覚室。遊びのボランティアが簡単な工作指導。
- 9日回・10日回・11日回 軽スポーツであそぼう 竹馬、フラフープ、なわとびなど遊具の無料貸し出し。10時～15時、中央広場。雨天中止。
- 9日回・10日回・11日回 フラフープ教室 13時～15時、中央広場。フラフープのギネス記録を持つパフォーマンスの山田祐也による教室。参加無料。雨天中止。
- 16日回～3月3日回までの土日 梅まつり 梅林では約650本の梅が見頃。祭り屋台が出て、梅のかざぐるま工作、ホットミルクの無料配布、コマの昔遊びなど多彩なイベント。雨天中止。
- 17日回 ジャガイモを育てる会 詳しくはこのページの記事を参照。
- 24日回 こども農園 詳しくは3面を参照。
- 24日回 定例紙芝居ライブ 「心をつなぐ紙芝居の会」の森内直美さんと尾花栄一さんによる公演。11時、13時、15時の3回だが、各回で出し物を変える。皇太子記念館ギャラリー。無料。

■3月
20日(水)・27日(水)は特別開園日です。
2日回・10日回・16日回 あそびの広場 2月と同じ。
9日回・10日回・20日(水)回 軽スポーツであそぼう 2月と同じ。

- 10日回・20日(水)回 フラフープ教室 2月と同じ。
- 16日回・17日回・23日(日)回・24日(日)回 自然スタンプビンゴ 10時～14時、正面入口広場で受け付け。動物や植物、施設などのスタンプを押した台紙を手に園内を回り、同じものを見つけてビンゴをつくる。参加費は50円。雨天中止。
- 23日(日)回・24日(日)回 ツバキまつり 椿の森で育てた苗木展示販売、50種類の切り花展示、椿のコサージュ工作、竹細工など。みどりのボランティアが開催。10時～15時、児童センターと椿の森。
- 23日(日)回・24日(日)回 シイタケを育てよう 園内で採集したホダ木にシイタケ菌を打ち込んで自宅で栽培してもらう。1年半後に生えてくるかも。定員、各日30組(1組2本まで)。料金は、ホダ木70センチが600円。3月1日(金)午前9時より電話受付開始(申し込みはこどもの国の代表番号へ)。
- 24日(日)回 定例紙芝居ライブ 2月と同じ。場所は皇太子記念館ギャラリー。

- 30日(日)回～4月7日(日)回 さくらまつり 満開の桜の下、各種イベントを企画。プラレール展示、ウォークラリー、ステージイベントなど。詳細は後日HPなどで。
- ◇児童センター工作教室 10時～15時、児童センターで随時受け付け。定員50人、参加費300円。2月3日(日)回 ムニムニ鬼▽10日(日)回 ハートのブローチ▽17日(日)回 ゆらゆらおひなさま▽24日(日)回 おしゃべりバード▽3月3日(日)回 おしゃべりバード▽10日(日)回 パラシュート▽20日(水)回 ツバキまつり工作

- ◆わくわく焼き物体験 10時～15時、児童センター。午前の部は10時30分まで、午後の部は13時まで受け付け。定員は各部20人、参加費700円。
- ・2月23日(日)回 葉っぱの大皿 陶板に葉っぱを押しつけて葉っぱ柄をうつす。仕上がりは2カ月後。
- ・3月9日(日)回・23日(日)回 ひもづくり陶芸 ひも状にこねて伸ばした粘土を重ね合わせて湯飲みやカップなどをつくる。仕上がりは2カ月後。

■こどもの国牧場の催し ■ ☎045-962-0511
◇バターづくり教室/日曜 13時、ミルクプラント2階。開園時よりミルクプラント売店で受け付け。先着12組、参加費1組500円。
◇チーズづくり教室/日曜 14時、ミルクプラント2階。開園時よりミルクプラント売店で受け付け。先着8組、参加費1組500円。
◇乳しぼり体験/土曜・日曜・祝日 11時、牧場牛舎前。開園時より牧場エサ売り場で整理券配布。先着50名(4歳以上)、参加無料。雨天中止。

へびの帽子で、お出迎え

のびのび、お正月休み

1月2日より開園したこどもの国では、新年の多彩な催し物を行いました。正月三日日は、正面入り口改札横に、職員が丹精込めて制作した高さ1・8メートルの門松を置き、お客様をお迎えしました。開園から30分間、正面入口広場では、雪印こどもの国牧場から、ウシの着ぐるみと、巳年にちなんでへびの帽子をかぶったロボのダイイチ君が写真撮影に登場。こども達と一緒に新年を祝いました。

また、2日と3日の両日、とても人気のある「ジャンボカルタ取り」を行い、こどもはいろはカルタ、大人は百人一首を楽しみました。2日間とも風が強く、特に2日は強風のため、らくが

き広場から多目的広場に会場を移しました。正面陸橋下には6日まで、恒例の「ジャンボ鏡もち」を置き

ました。お客さまは様々なアングルから、途切れなく記念撮影していました。お正月遊びのすごろく。こどもの国では、園内の内周道路に20か所のポイントを設置、ひとまわり2キロもある「ジャンボすごろく」を行いました。入口

案内所で受け付け(参加費50円)をすまし、用紙とサイコロを借りて出発。サイコロを振り、出た目の数だけポイント地点に進みます。到着したら看板の指示に従い、やらなければいけないことを実行した後、サイコロを振って、さらに前進します。

ジャガイモを育てよう!

ジャガイモを育てる会の参加者を募集します。各区画に10株程度のダンシヤクを植え、育てて収穫してもらいます。種イモを植える日は2月17日(日)。午前の部は午前10時に、午後の部は午後1時に、児童センター視聴覚室に集合し、説明の後、イモを包丁で切って種イモを作り、灰で切り口を消毒した後、各自が畑に植えます。雨天は3月3日(日)に順延。

その後は4月14日(日)午後1時芽かき土寄せ▽5月26日(日)土寄せ▽6月23日(日)収穫で終了します。他の日も、みどりのボランティアの活動日に、草抜きなどの農作業を

自由に行っていました。参加定員は各部35組。3歳以上、小学生以下のこどもがいる家族・グループに限ります。こども農業体験との重複参加はできません。参加費は2千円(年間通し。入園料は別)で第一回の受け付け時にお支払いください。

申し込みは、往復はがきの往信欄に住所、電話番号、参加者全員の氏名と年齢、学年、さらに参加希望の部(午前か午後か)を記入し、返信欄の宛先に自分の住所、氏名を書いて、こどもの国「ジャガイモを育てる会係」に送ってください。締切は2月1日(金)必着です。

氷、ツルツル!



昨年12月にオープンした野外アイススケート場に新しい氷上整備車のザンボニーが登場しました。写真。前の整備車が老朽化したために導入しました。ザンボニーは米国製。車体後部に取り付けた長さ2メートルの表面をツルツルにします。

おしゃべり大好き、お調子者

ルリコンゴウインコの「マハロ」

牧場さんぽ

「おはよう!」「オハヨー!」私の挨拶にいつも元気に答えてくれるのは、ルリコンゴウインコのマハロです。写真右、左は仲良しのルリちゃん。

ルリコンゴウインコは南米の熱帯雨林が原産の体長80センチにもなる世界一大きなインコの仲間です。見ている通り、緑色の前頭部、黄色の胸と腹、青い羽と尾、黒いあごなど、カラフルな体色が特徴です。ルリコンゴウは和名ですが、漢字で書くと「瑠璃金剛」。瑠璃色(紫を帯びた鮮やかな青)を背中にまとい、華麗で光沢のある羽が「金剛石(ダイヤモンド)」のように美しいことからついた名前と言われています。これほど器量良しのマハロですが、実はこども動物園一のおしゃべり好き、お調子者なのです。得意な言葉は「アロハ」「バイバイ」「アーア」「ハイ」。ほかに「○○××ダネ…」のように語尾以外、聞き取れない言葉をゴニョゴニョしゃべったりしています。言葉の意味は分かっていると思うのですが、わざとエサのピーナツを落として「アーア」と言うことがあります。私が実習生だった頃、指導を受けながら「はい」と返事をしていると、マハロも一緒に「ハイ」と大きな返事をしてくれました。飼育係になった私は、マハロに新しい言葉を教えてみることに



にしました。選んだ言葉は「ちようだい」。マハロは、長音が入っている言葉が得意で、おしゃべり以外にごはんも大好きだからです。でも、どうやって覚えさせるのか分かりません。マハロには特訓のような堅苦しい感じは向いてないと思っただけで、遊びの延長線といった感じで、エサやおやつをあげる前に「マハロ、ちようだいはい?」「ちようだい」と一人二役を言い続けました。マハロは「何言ってるんだ、こいつ」といった感じで首をかしげたり、無視したりして、時々「アロハ」などと、別の言葉を返してきます。こんなやりとりが半年続き、なかばあきらめかけた頃でした。

突然、「マハロ、ちよーだいハ?」「ちよーだい」と、かん高い声がありました。私は耳を疑いました。聞き間違いかもしれないと思いつつ、もう一度耳をすますと、マハロは同じ言葉を繰り返しています。この時の喜びは、小学生の頃からの夢だった、飼育係になれたあの日と同じくらい大きなものでした。この日マハロは、今まで溜めていた分を吐き出すかのように、何度も「ちよーだい」を繰り返しました。私はすぐにその声を録音し、繰り返し聞いて、ひとりニヤニヤしていました。この日以来、マハロと何だか心が通じ合えた気がしています。これからも少しずつおしゃべりできる言葉を増やしたいと思っています。私「じゃあ、また明日ね!おやすみ」マハロ「バイバイ」こんな挨拶を交わして一日の仕事が終わります。(こども動物園 橋本磨由子)

心をこめて育てたよ!

初の「こども農業体験」

昨年3月から始まった初めての「こども農業体験」が、この1月の収穫をもって、10カ月のカリキュラムを終了しました。こどもたちが育てた作物は、ジャガイモや落花生など10種類。暑い中での草抜きや畑を耕す作業も体験しました。

このイベントには19家族が参加。ボランティア農場に割り当てられた各6平方メートルの区画で、園が配布した種や苗を植え、草抜きや土寄せなどの世話をしました。



収穫した枝豆を茎からもぐこどもたち=昨年10月

小カブなど。各区画に長さ2メートルの畝を4本作り、それぞれの畝に異なる作物を植えました。新しい作物を植えたり、収穫したりする日は、みんなで集まりました。普段の日でも、自主的にやってきて、草抜きする熱心な家族もいました。みどりのボランティアが指導しましたが、基本的に各家族の畑には手を出さないことにしていたので、真夏に草ぼうぼうの区画もあれば、よく手入れされた区画もありました。畑を手入れすればするほど、収穫時の成育が良いこともわかりました。

こどもの国の初めての試みで、しかも作物の生育は天候に左右されるため、予想外の不作や成育不良もありました。落花生は植えた時期が悪かったのか収穫が少なく、冬に植えた春菊や小カブは寒さで育たなかったため、収穫を1カ月延ばして今年1月にしました。

その後は4月14日(日)にラディッシュ収穫とジャガイモの土寄せ、5月12日(日)にはラディッシュの跡地に落花生の植え、6月16日(日)にジャガイモ収穫と続きます。ジャガイモの跡地にはカブとニンジン、枝豆の跡地には春菊を植え、最終となる落花生の収穫は11月の予定です。

月1回程度、全員での作業日をもうけます。また、みどりのボランティアの活動日に、ボランティアの指示を受けて自由に畑作業を行っていただけます。特に夏は草の育ちが早いので、草抜きしなると作物に栄養が回りません。参加定員は22組。3歳以上、

今年も募集

今年もこども農業体験の参加者を募集します。今年も8種類の作物に絞ります。

参加者は2月24日(日)午前10時に児童センター視聴覚室に集合、ジャガイモのキタアカリとアンズレッド、さらに枝豆、ラディッシュの4種類を植えます。雨天は翌週に順延。

小学生以下のこどもがいる家族・グループに限ります。前年の参加者はご遠慮ください。参加費は3千円(年間通し)。入園料は別)で第1回の受け付け時にお支払いください。申し込みは、往復はがきの往信欄に住所、電話番号、メールアドレスを記入してください。

「これ、おいしいですよ」というと、ほとんどの人は「えっ?」と驚く。5月、15、20センチぐらゐのまあ若いうちに、ゆでて辛子醤油で食べる。山菜として「うるい」という名前がある。最近はこの名で売るスーパーも出てきた。「どうやって食べるのかしら?」と首をひねっている

思い出 こどもの国

みどりのボランティアの人たちからは「ずいぶん変な食べ物も教えてもらった」と感謝(?)されている。

前にふれた野草のてんぷらやアケビの皮だけではない。戦後の食糧難時代、私が育った東北の片田舎では、昔から伝えられた食物の知恵が日常の生活の中に生きていた。



樺の森や野草園の周辺にはギボウシがたくさん生えている。

「オツ」で滋味、野の味覚

客に教えてあげたこともある。ほとんど知られていない、店では絶対売っていないのが「すべりひゆ」である。「真夏のかんかん照りに元気にはびこる畑の雑草」というと、雑草に詳しい人はわかる。これを改良した園芸品種の花が「ポーチュカ」。「花スベリヒユ」である。

ポキッと折れるところから先を摘み、これまたおひたしにして辛子醤油で食べる。これも又もつながる。

アドレス、参加者全員の氏名と年齢、学年を記入し、返信欄の宛先に自分の住所、氏名を書いて、こどもの国「こども農業体験係」に送ってください。締切は2月8日(金)必着です。抽選になる可能性が高いので、ご了承ください。

メリがあり、結構オツな味である。写真は、結構オツな味である。写真は、結構オツな味である。

自然の中で育った食べられるものは滋味も風味も豊かで、人間の食生活の歴史を学ぶことにもつながる。

ウド、ゴゴミ、タラノメは草刈りのせいでだいぶ減ってしまったが、6月下旬、じゃがいも掘りイベントのころは、十数年前、畑の

「食育」はおいしくて楽しい。元こどもの国業務部長 高橋 潤

各地のこどもの国 2月・3月の催し

- 北海道子どもの国(砂川市) ☎0125・53・3319
http://www.hokkaidokodomonokuni.or.jp
※4月下旬まで冬季閉園 2月10日 ウインターフェスティバル
■霊山(號?)こどもの村(福島県伊達市) ☎024・589・2211
http://kodomo-ryozen.org
※3月中旬まで冬季閉園 詳細はHP参照を
■千葉こどもの国「キッズダム」(市原市) ☎0436・74・3174
http://www.kidsdom.jp
2月2日、3日 ワークショップ もうすぐ節分! ☆鬼のお面や福マスを作ろう☆アイロンビーズで鬼の顔を作ろう▽3日
どこまで、積み上げる? 親子みかん積み競争▽9日、10日、11日
バレンタイン チップくんをさがしてチョコレートをもらおう▽10日
愛の力を合わせて! 親子二人三脚競争▽11日
ボールプール宝探し▽17日
こどもの国に雪? 新聞ボール雪合戦▽24日
親子で挑戦! 楽しいフラフラ競争▽3月23日~4月7日
さくらまつり
■愛宕山こどもの国(甲府市) ☎055・253・5933
http://business4.plala.or.jp/atagoing/
2月の土・日・祝日 焼きいもを楽しもう! (*天候により中止の場合あり)▽3月の土・日・祝日、春休み期間中 季節の遊び・工作(*同)▽3月24日
愛宕山春祭り
■富士山こどもの国(静岡県富士市) ☎0545・22・5555
http://www.kodomo.or.jp
2月28日まで毎日 3776富士山クイズラリー▽3月中旬まで
雪の丘「100メートルそり滑りゲレンデ」▽2月2日、3日
節分イベント▽9日~11日、16日、17日、23日、24日
雪の丘ゲーム大会▽23日、24日
富士山の日特別優待デー
■愛知こどもの国(西尾市) ☎0563・62・4151
http://www3.ocn.ne.jp/~a-kodomo/
2月11日まで 卓上もびーる▽3月24日まで
みどぼんの絵の展示▽2月13日~3月3日
おひなさま▽2月16日、17日
枯れ葉スライダーで遊ぼう▽24日
バームクーヘン作り▽3月5日~31日
砂の壁画▽3月10日
自然を楽しむ会~こどもの国探検隊~(8回目)▽16日、17日、23日、24日
春まつり
■岐阜県こどもの国(養老町) ☎0584・32・0501
http://www.yoro-park.com
2月10日
お話の日▽17日
七宝焼にチャレンジ! & エコセラを楽しもう!▽3月9日
お話の日▽23日
わくわくシアター
■びわ湖こどもの国(滋賀県高島市) ☎0740・34・1392
http://www.biwa.ne.jp/~kodomo92
2月2日
木の実の工作広場▽3日
写真立て作り▽9日
バレンタイン大作戦パート1▽10日
第7回ちびっこマラソン大会▽11日
バレンタイン大作戦パート2▽16日
科学であそぼう▽17日
スノードーム作り▽23日
ピンで小物入れ作り▽24日
ピー玉ころころ迷路作り
■鳥取砂丘こどもの国(鳥取市) ☎0857・24・2811
http://www.kodomonokuni.gr.jp
2月2日、3日
鬼さんと遊ぼう!▽9日、10日
バレンタインチョコ作り▽11日
異国の文化を楽しもう▽16日
スポーツを楽しもう▽17日
木工・砂工房お客様感謝デー▽23日、24日
こどもの国ひなまつり▽24日
保育専門学院のお兄さん・お姉さんといっしょに遊ぼう!
■沖縄こどもの国(沖縄市) ☎098・933・4190
http://www.kodomo.city.okinawa.okinawa.jp
2月1日
みんな集まれ!こどもの国のたまてばこ▽2日~4月ごろまで
万華鏡展~鏡のなかの花まつり▽2日~24日(日)
くるくるカライドサイクル▽2日~休館日を除く毎日
はな*はな万華鏡▽3日、17日
琉球のいきものガイド「猛禽類(もうきんるい)」▽8日、15日、22日
それいけ、あそび隊!▽16日、17日
とらやまの故郷・対馬展▽16日、17日、23日、24日
サイエンスショー▽16日~24日
磁石のおもちゃをつくってあそぼ▽16日~4月8日
科学企画展「磁石のひみつ展」▽23日~3月24日
第4回沖縄こどもの国花まつり2013

Advertisement for OJI and nepia hand sanitizers. Includes text: '手洗い。うがい。ウエットトン。', 'スマートブタ ウエットトン', '除菌 ウエットティッシュ', and images of the products.

開花情報

肌寒きこの時期、春を待ち切れず咲く花が少なくありません。

児童センター前の温室では、1980年に中国から日本に初

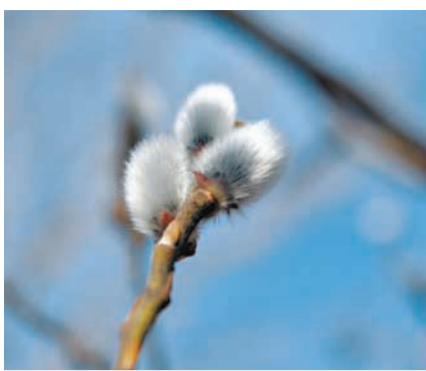


自然のたより

こどもの国から

春到来告げる フサフサの穂

厳冬まつただ中ですが、児童センター周辺のネコヤナギは、フサフサと柔らかい猫のしっぽを付け、冬の日差しを浴びて銀白色に輝いています。写真。



めて移植された第1号の「金花茶」写真①が黄色の中輪を咲かせます。その近くでは、2005年に植えられたベトナム原産の珍しい「ハイドゥン」同②が、肉厚のあるピンク色の花を咲かせます。いずれも開

感じは猫のしっぽ。ネコヤナギと名付けられたのも当然です。ネコヤナギは雌雄別株で、今の段階では雌雄どちらの花穂かはよく分かりません。開花といつても、普通の花びらではなく、猫の毛の下からおしべ・めしべが伸びてきます。

3月以降、雄花はおしべの先端に赤いやくを付けます。やくが開くと黄色い花粉が出てくるので、赤から黄色へと色を変えるように見えます。

一方の雌花は、めしべの先端に黄色っぽい柱頭を付けます。花の後に実が熟して割れると、「柳絮」と呼ばれる綿毛に包まれたタネを出します。

北海道から九州まで、全国の水辺に広く自生するネコヤナギ。葉よりも早く花を付けるため、春を告げるヤナギとして親しまれています。

花穂の伸び具合を見ていると、春がどこまで来ているか、実感できます。

こどもの国催事広報課
野坂 佑一

花の期間が短い珍しい椿です。椿の森では、「梅ヶ香」同③、「紋笑顔」同④、「鳴海瀉」などのサザンカが咲き誇りますが、じきにツバキへと、花の主流が移ります。「太郎冠者」同⑤、「曙」など、いろんなツバキが時間差で開花します。



気品ある薄桃色の八重咲の大輪を付ける「御簾の内」、1947年に長崎県で発見された花びらの縁が白く中が深紅で美しい「玉之浦」など、貴重なツバキが次々と花開きます。

梅林では中旬以降、白梅、紅梅、豊後梅が咲き誇り、いよいよ梅まつりがスタートします。ほかには、先月も紹介した口

ウバイ（緑陰広場ほか）がまだ見頃ですが、皇太子記念館周辺ではマンサク同⑥が可憐な黄色い花を付け始めます。天気の良い日には、オオイヌフグリのかわいいコバルトブルーの花々も目立ちます。

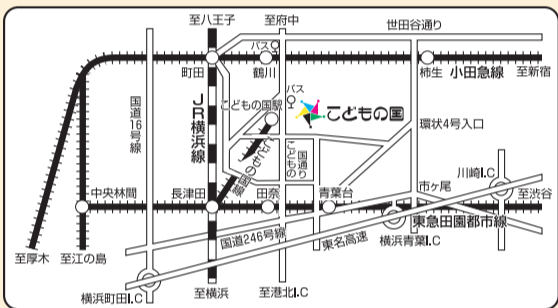
雑木林の斜面などではフキノトウ同⑦も顔を出し、春の息吹を感じさせます。

〒227-0036 横浜市青葉区奈良町 700
☎045-961-2111 Fax045-962-1366
http://www.kodomonokuni.org

開園時間 9時30分～16時30分 (7月、8月は17時まで)
入園は15時30分まで (7月、8月は16時まで)

休園日 毎週水曜日 (水曜日が祝日の場合は開園します)、12月31日、1月1日

交通 東急田園都市線・JR横浜線「長津田駅」でこどもの国線に乗り換え7分、「こどもの国駅」下車▽小田急線「鶴川駅」下車、「こどもの国」徒歩10分、「こどもの国」下車



| 入園料 | 一般 | 団体 | | 回数券 11枚つづり (6カ月有効) | 年間パスポート | |
|-----|------|-------|--------|--------------------------|---------|----------|
| | | 30人以上 | 300人以上 | | 年間利用券 | ウィークデイパス |
| おとな | 600円 | 480円 | 360円 | 6,000円 | 10,000円 | 3,000円 |
| 高校生 | 600円 | 360円 | 290円 | | | |
| 中学生 | 200円 | 160円 | 120円 | 2,000円 | 5,000円 | 1,000円 |
| 小学生 | 200円 | 120円 | 90円 | | | |
| 幼児※ | 100円 | 80円 | 60円 | 1,000円 | 4,000円 | 500円 |

◎平日シルバー割引 満65歳以上の方の平日(土曜・日曜・国民の祝日・休日以外の日)の入園料は300円。入園券売り場で身分証明書など、ご本人の年齢が確認できるものを提示して、「平日シルバー券」をご購入ください。
◎障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は本人と付き添い1人が半額になります。入園券売り場で手帳をご提示ください。
※幼児は3歳以上です。0～2歳は無料。

| 駐車場 (1700台収容) | 普通車 | マイクロバス | 大型バス |
|---------------|------|--------|--------|
| 駐車料 (1日1回の料金) | 900円 | 1,100円 | 1,600円 |

◎土・日・祝日は駐車場と周辺道路が大変混雑します。電車・バスのご利用をお願いします。
■雪印こどもの国牧場 〒227-0036 横浜市青葉区奈良町 700
(雪印こどもの国牧場は、こどもの国の園内にある施設です)
ご案内 ☎045-962-0511 Fax045-962-0512
http://www.kodomonokuni-bokujyo.co.jp

子育てという、しあわせ。

ASAHI 朝日新聞出版

2013年 2月号

AERA with Baby

好評発売中 ■定価680円(税込) ■A4判変型・132ページ

一人でも大変なのに……ベストタイミングはいつ?

ふたり目のリミット

寒い日も雨の日も、これで乗り切る!

おうちあそびのネタ帳 55

子どもの肌のための暮らし見直し宣言!

近藤珠實先生の いまどき「マナー」の極意

「出生前診断」を考える スペシャル付録

体験者が語る、「あのときの気持ち」

●親の離婚・再婚 ●養子 ●児童養護施設 ●虐待

第3回 絵本コンテスト 最優秀作品

おうちあそびのネタ帳 55

お求めは書店、ASA(朝日新聞販売所)でどうぞ。 http://publications.asahi.com/

まだビフィズス菌だけですか。

未来は、ミルクの中にある。 雪印メグミルク

ナチュラル

恵

megumi

これからは「+ガセリ菌SP株」。

ふたつの乳酸菌の力を、現代日本人のおなかへ。

ガセリ菌 SP株 + ビフィズス菌 SP株